

次のハーモニック・シフト：今から 2037 年までの人類の進化

The Next Harmonic Shift: Humanity's Evolution Between Now and 2037

人類は今どこに立っているのか

Where Humanity Stands Now

人類はすでに移行期の中に入っています。

扱われるテーマには次のようなものが含まれます。

- ・ 二元意識から一元意識（ユニティ）へのシフト
- ・ 未解決の感情エネルギーの集合的な解放
- ・ 急速なテクノロジーの加速（AI、通信、知識へのアクセス）
- ・ 古いシステムの不安定化の増大

来るべき開示 — アカシックの洞察によるオフワールド存在に関して

The Coming Disclosure - Akashic insight regarding off-world beings

- ・ 人類が「自分たちは孤独ではない」と理解すること
 - ・ 人類の起源に関する新しい理解
 - ・ 多くの継承されてきた信念体系の崩壊
 - ・ 惑星的なアイデンティティの始まり
-

突然変異のプロセス（2027-2037）

The Transmutation Process (2027-2037)

最後の DNA の突然変異の結び目（ノット）が、徐々に活性化し始めています。

この段階的なシフトは次のように進みます。

1. 直感的な感覚意識の増大
2. 純粋に生物学的なアイデンティティへの依存の減少
3. 五感を超えた知覚の拡大
4. 思考に応答する生物学へと向かう緩やかな移行

思考に応答する存在になること

— 拡張される機能に向けて、人間システムを準備する方法

Becoming Thought-Responsive Beings - how to prepare the human system for expanded function

- ・ 物質を形づくる際の意識の役割
- ・ 感情の安定性とノンジャッジメントの重要性
- ・ 松果体センターの発達

- ・ 肉体・スピリット・魂の内的整合（コヒーレンス）

開示後の文明における生活

Life in a Post-Disclosure Civilization

以下は予測ではなく、可能性として考えられる結果です。

- ・ 新しい教育形態
- ・ 新しいエネルギー技術
- ・ グローバルな協力体制
- ・ サバイバル中心の文化からのシフト

人類は「何か新しいものになる」のではありません。

すでに自分たちが何であるかを思い出しているのです。

人類の移行タイムライン

— 生物学的アイデンティティから思考応答型存在へ（2026–2037）

Humanity's Transition Timeline - From Biological Identity to Thought-Responsive Being (2026 – 2037)

すでに述べたように、人類はすでに移行の中にあります。

主な特徴：

- ・ AI などの高度技術の急速な進歩
- ・ 既存の政治・経済システムへの不満の増大
- ・ 個人の直感的感覚意識の高まり
- ・ 世界的な緊張と二極化の増大

エネルギー的には、この時期は

最後の DNA の突然変異の結び目が緩み始める時期です。

多くの人々が次のような体験をします。

- ・ 感情の強度の増大
- ・ スピリチュアルへの好奇心
- ・ アイデンティティの変化
- ・ 受け継がれてきた信念への疑問

この段階は、人類を心理的に次の段階へ準備させます。

ディスクロージャー

開示される出来事 2027 年 3 月または 11 月

The Disclosure Event in March or November of 2027

私のアカシックレコードの解釈によれば、この時期はオフワールド存在が人類の進化史における自らの存在を世界的に認める期間を示しています。

彼らは征服者や救世主として現れるのではなく、おそらく次のような立場として現れるでしょう。

- ・ 長期にわたる観察者
- ・ テクノロジーのメンター
- ・ 人類の生物学的発展の参加者

本当のインパクトは恐怖ではありません。本当のインパクトは**人類の歴史とアイデンティティに関する、長く信じられてきた前提の崩壊**です。

宗教、科学、哲学はすべて新しい理解のもとで再編成され始めます。

地球規模の再方向付け（2028–2030）

Global Reorientation 2028 – 2030

ディスクロージャーの最初の衝撃の後、人類は再編成を始めます。

起こり得る展開：

- ・ グローバルな科学協力
- ・ 意識とエネルギーのオープン研究
- ・ 急速な技術発展
- ・ 感覚意識（アウェアネス）を重視した新しい教育システム

この時期はまた、生物学的変化の初期段階でもあります。人間の神経系が拡張された知覚に適応し始めます。

多くの人が次のような体験をします。

- ・ 直感の高まり
- ・ テレパシー的印象
- ・ 人と人とのより直接的な感情への気づき

意識の拡張期（2030–2034）

The Consciousness Expansion 2030 – 2034

この期間、人類は次第に**意識自体が現実形成に関与している**ということを理解し始めます。

かつては周縁のテーマとされていたもの主流になり始めます。

- ・ 意識の研究
- ・ エネルギー医学
- ・ 非局所的感覚意識
- ・ 多次元物理学

人間のアイデンティティは急速に「私は身体である」から
「私は身体を通して表現される意識である」へとシフトします。
ここで、人間生物学の**思考応答性**がより明確になります。

突然変異の時期 (2034–2037)

The Transmutation Period 2034 – 2037

これは「最後の DNA の突然変異の結び目」が完全に活性化する段階です。
人間の生理機能は**思考が身体を組織する主要な力となる**新しい原理へ適応し始めま
す。

この移行は緩やかですが、非常に顕著です。

例として：

- ・ 密度の高い食物システムへの依存の減少
- ・ エネルギー知覚の強化
- ・ より流動的な感情のコミュニケーション
- ・ 思考の明晰性の拡大

人間は次第に機械的行動ではなく**意識を通して現実と相互作用する能力**を
高めていきます。

閾値の瞬間 (2037) *The Threshold Moment - 2037*

この時点で、人類は自らを**多次元種族**として完全に認識する可能性があります。

このシフトは肉体の消失を意味するものではありません。

むしろ身体に意識で応答するものになります。

古代から語られてきた**思考応答型存在としての人類**という概念が
現実として生きられるようになります。

核となるメッセージ *The Core Message*

このタイムラインの目的は期待や恐れを作り出すことではありません。目的はただ一
つです。

人類は進化しているということを思い出させることです。

内的整合（コヒーレンス）、感覚意識、慈愛を育む人々は
この移行をより優雅に通過するでしょう。

準備はシンプルです。

- ・ 内的葛藤を解放する
- ・ 感情エネルギーを安定させる
- ・ ジャッジメントを超えて感覚意識を拡大する

言い換えるならば、コヒーレントな存在になることです。

